

教職魅力化・働き方改革トータル広報支援事業業務委託
に係る公募型プロポーザルに対する質問・回答

No.	質問内容	回答
1	広告手法として、ラジオCMを指定した背景についてご教示いただけますでしょうか？	SNSやWebサイトなど能動的な情報収集を前提とするデジタル媒体では到達しにくい幅広い年代層に対して、教員の働き方改革等の取組みの周知を図るための一手法として例示させていただいております。
2	本事業における成果指標は、「保護者や地域住民への理解促進」であり、それによる結果としての「超過勤務時間数の削減」そのものは、本事業の直接的な成果指標とは別のものであるという認識でよろしいでしょうか。	その認識で間違いございません。
3	仕様書に「動画・ラジオCM・ポスター・リーフレット等の広告物の制作・広告運用を行う」と記載されています。提案内容に応じて効果的なものを選択・特化させた提案を行うことは可能でしょうか。それとも、挙げられている全ての媒体(動画、ラジオCM、ポスター、リーフレット)の制作および運用が必須でしょうか。	提案内容に応じて効果的なものを選択・特化させた提案を行っていただいても構いません。
4	企画提案において適切な広報スケジュールを構築するため、実施を予定されている「ワークショップやセミナー」について、現時点で想定されている「概ねの日程」および「具体的な内容」がございましたらご教示いただけますでしょうか。	教員を志す県内高校生や大学生を対象として、児童の野外活動に係る指導・支援を行うワークショップを11月上旬に予定しており、その参加者募集及びワークショップの事前研修に係る広報等を本事業にて実施予定です。 ※セミナーについては、内容・実施時期ともに未定です(オンラインでの開催を想定しています)
5	「広告の配信開始後、1月に1回以上月次報告書としてとりまとめを行い、県に報告すること」とありますが、広告媒体の特性や運用期間によっては1ヶ月単位での有意な効果測定(分析・検証)が難しいケースも想定されます。その場合であっても、毎月の報告書の提出は必須要件となりますでしょうか。	報告書の頻度等については委託事業者の決定後、広告媒体の特性や運用期間に応じてご相談させていただければ幸いです。
6	仕様書に記載されているターゲット層(中高大学生、その保護者、潜在的な教員免許保持者、UIJターン希望者など)は非常に多岐にわたっています。提案にあたり、これらすべてのターゲットに全方位的に訴求するプランとするべきでしょうか。あるいは、弊社側で特定のターゲット層を一部選出して絞り込んだ提案を行ってもよろしいでしょうか。	本事業においてPRする取組内容が多岐にわたっており、それぞれで想定されるターゲット層が異なります。仕様書上の記載は区分分けをしておりますが、特定の取組に対し、特定のターゲット層を一部選出して絞り込んだ提案を行っていただいても構いません。